

鎌倉幕府と執権政治

名前 _____

_____ 月 _____ 日

今日の問い

鎌倉幕府は、将軍と御家人をどう結びつけ、どのように力を広げたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 鎌倉幕府はどんなしくみでできていたか。

御恩と奉公・守護と地頭

1185年、源頼朝は国ごとに 1 守護、荘園や公領ごとに 2 地頭 を置くことを認めさせ、1192年に 3 征夷大將軍 となった。将軍は御家人の領地を保障する 4 御恩 を与え、御家人は警備や戦いの 5 奉公 をつとめた。

2 幕府の政治をだれがどう動かしたか。

北条氏・承久の乱・御成敗式目

頼朝の死後、6 北条氏 が 7 執権 として政治を動かした。1221年の 8 承久の乱 では、北条政子のよびかけで幕府方が勝利し、京都に 9 六波羅探題 を置いた。1232年、北条泰時は武士のための最初の法律である 10 御成敗式目 を定めた。

年表 — この単元のできごと

1185

守護・地頭を置く

1192

源頼朝が征夷大將軍になる

1219

源氏の将軍が3代で絶える

1221

承久の乱が起こる

1232

御成敗式目が定められる

まとめ

今日の問いに答えよう。「御恩と奉公」「承久の乱」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例) 鎌倉幕府は、将軍が領地を保障し、御家人が警備や戦いをつとめる御恩と奉公の関係で両者を結びつけた。北条氏は承久の乱に勝ち、幕府の力を西国にまで広げた。

☐ 御恩と奉公を説明できる ☐ 承久の乱の結果がわかる ☐ 執権政治のしくみがわかるできた / 10chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら

ちりつもドリル

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

1 / 1

G7-REKI-KAMAKURA-NOTE-01-A